

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-285168

(43)Date of publication of application : 13.10.2000

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 15/02

G06F 17/24

G06F 17/21

G06T 11/60

(21)Application number : 11-093936

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 31.03.1999

(72)Inventor : TADA KEIKO

YOSHII FUMIHIKO

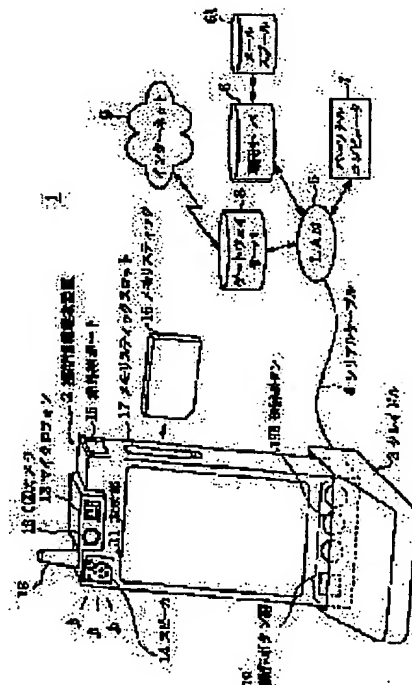
SUZUKI NAOHIRO

(54) INFORMATION PROCESSOR, METHOD FOR PROCESSING INFORMATION, MEDIUM AND IMAGE EDITING PROCESSING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To effectively put an image fetched from the outside in order and edit it without complicated operation.

SOLUTION: This information processor is provided with a schedule preparing means for preparing a schedule provided with a character description area and an image display area together with a date/time, an image fetching means for fetching image data, to which date/time information in the image pickup is added, from the outside, a date/time information extracting means for extracting the date/time information from the image data and a control means for synthesizing image data and storing them in a prescribed storage means so as to overlap an image corresponding to the image data in the image display area where the date/time information is correspondent to the date/time of the schedule.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成手段と、
撮像時の日時情報が付加された画像データを外部から取り込む画像取込手段と、

上記画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出手段と、

上記日時情報と上記予定表の上記日時とが対応する上記画像表示領域に上記画像データに応じた画像を重ねるように上記画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御手段とを具えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】上記制御手段は、上記画像表示領域に上記画像データを合成した後に所定の表示手段に表示することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】上記制御手段は、上記画像取込手段によって取り込まれた上記画像データの画像サイズがそれぞれ異なる場合、上記画像表示領域に応じた画像サイズに変換することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成ステップと、
撮像時の日時情報が付加された画像データを外部から取り込む画像取込ステップと、

上記画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出ステップと、

上記日時情報と上記予定表の上記日時とが対応する上記画像表示領域に上記画像データに応じた画像を重ねるように上記画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御ステップとを具えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項5】上記制御ステップは、上記画像表示領域に上記画像データを合成した後に所定の表示手段に表示することを特徴とする請求項4に記載の情報処理方法。

【請求項6】上記制御ステップは、上記画像取込ステップによって取り込まれた上記画像データの画像サイズがそれぞれ異なる場合、上記画像表示領域に応じた画像サイズに変換することを特徴とする請求項4に記載の情報処理方法。

【請求項7】日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成ステップと、
撮像時の日時情報が付加された画像データを外部から取り込む画像取込ステップと、

上記画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出ステップと、

上記日時情報と上記予定表の上記日時とが対応する上記画像表示領域に上記画像データに応じた画像を重ねるように上記画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御ステップとからなることを特徴とするプログラムを情報処理装置に実行させる媒体。

【請求項8】上記制御ステップは、上記画像表示領域に

上記画像データを合成した後に所定の表示手段に表示することを特徴とするプログラムを情報処理装置に実行させる請求項7に記載の媒体。

【請求項9】上記制御ステップは、上記画像取込ステップによって取り込まれた上記画像データの画像サイズがそれぞれ異なる場合、上記画像表示領域に応じた画像サイズに変換することを特徴とするプログラムを情報処理装置に実行させる請求項7に記載の媒体。

【請求項10】所定の撮像手段によって撮像され、撮像時の日時情報が付加された画像データを送信する画像送信装置と、

上記画像送信装置によって送信された上記画像データを取り込む画像取込手段と、日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成手段と、上記画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出手段と、上記日時情報と上記予定表の上記日時とが対応する上記画像表示領域に上記画像データに応じた画像を重ねるように上記画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御手段とでなる情報処理装置とを具えることを特徴とする画像編集処理システム。

【請求項11】上記情報処理装置の上記制御手段は、上記画像表示領域に上記画像データを合成した後に所定の表示手段に表示することを特徴とする請求項10に記載の画像編集処理システム。

【請求項12】上記情報処理装置の上記制御手段は、上記画像取込手段によって取り込まれた上記画像データの画像サイズがそれぞれ異なる場合、上記画像表示領域に応じた画像サイズに変換することを特徴とする請求項10に記載の画像編集処理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は情報処理装置、情報処理方法、媒体及び画像編集処理システムに関し、例えばデジタルスチルカメラ等で撮像した静止画像データをパーソナルコンピュータ装置上で整理及び編集する場合に適用して好適なものである。

【0002】

【従来の技術】従来、パーソナルコンピュータ装置においてはデジタルスチルカメラ等で撮像された静止画像データを取り込み、種々の画像加工処理を施すことによりユーザ所望の画像を生成することが一般に行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところでかかる構成のパーソナルコンピュータ装置においては、静止画像データを取り込んだときに画像加工処理を実行する以外は静止画像データを撮像順に並べる程度の編集処理機能しか有しておらず、静止画像データを所望の画像表示領域に移動して効果的に整理及び編集するためには煩雑な操作をユーザに強いるという問題があった。

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-285168
(P2000-285168A)

(43)公開日 平成12年10月13日(2000.10.13)

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	テコト*(参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	L 5 B 0 0 9
15/02	3 5 5	15/02	3 5 5 A 5 B 0 1 9
17/24		15/20	5 4 6 A 5 B 0 4 9
17/21			5 9 0 J 5 B 0 5 0
G 0 6 T 11/60		15/62	3 2 5 R
審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 12 頁)			

(21)出願番号 特願平11-93936

(22)出願日 平成11年3月31日(1999.3.31)

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 多田 恵子

東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニ
株式会社内

(72)発明者 吉井 文彦

東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー
株式会社内

(74)代理人 100082740

弁理士 田辺 恵基

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報処理装置、情報処理方法、媒体及び画像編集処理システム

(57) 【要約】

【課題】本発明は、外部から取り込んだ画像を煩雑な操作なしに効果的に整理及び編集する。

【解決手段】本発明は、日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成手段と、撮像時の日時情報が付加された画像データを外部から取り込む画像取込手段と、画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出手段と、日時情報と予定表の日時とが対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御手段とを設ける。

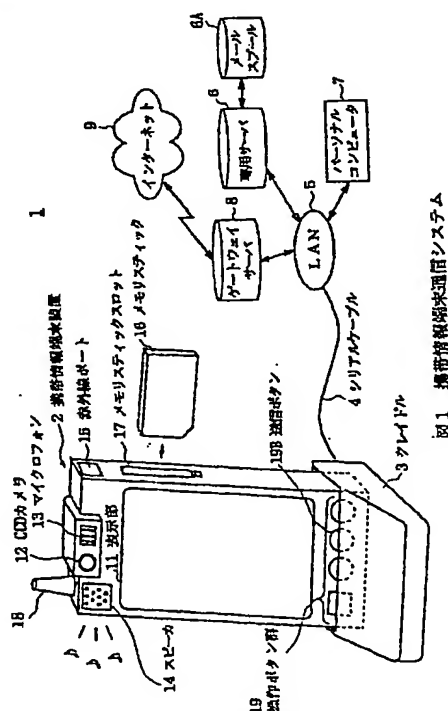


図1 携帯情報端末通信システム

3

【0004】本発明は以上の点を考慮してなされたもので、外部から取り込んだ画像を煩雑な操作なしに効果的に整理及び編集し得る情報処理装置、情報処理方法、媒体及び画像編集処理システムを提案しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するため本発明においては、日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成手段と、撮像時の日時情報が付加された画像データを外部から取り込む画像取込手段と、画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出手段と、日時情報と予定表の日時とが対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御手段とを設けるようにする。

【0006】外部から取り込んだ画像データの日時情報に基づいて予定表の日時に対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように合成することにより、予定表の画像表示領域に外部から取り込んだ画像を自動的に貼り付けて記憶することができる。

【0007】また本発明においては、日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成ステップと、撮像時の日時情報が付加された画像データを外部から取り込む画像取込ステップと、画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出ステップと、日時情報と予定表の日時とが対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御ステップとを設けるようにする。

【0008】外部から取り込んだ画像データの日時情報に基づいて予定表の日時に対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように合成することにより、予定表の画像表示領域に外部から取り込んだ画像を自動的に貼り付けて記憶することができる。

【0009】さらに本発明においては、日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成ステップと、撮像時の日時情報が付加された画像データを外部から取り込む画像取込ステップと、画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出ステップと、日時情報と予定表の日時とが対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御ステップとからなることを特徴とするプログラムを情報処理装置に実行させる媒体を提供するようにする。

【0010】外部から取り込んだ画像データの日時情報に基づいて予定表の日時に対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように合成するプログラムを情報処理装置に実行させることにより、予定表の画像表示領域に外部から取り込んだ画像を自動的に貼り付けて記憶することができる。

4

【0011】さらに本発明においては、所定の撮像手段によって撮像され、撮像時の日時情報が付加された画像データを送信する画像送信装置と、当該画像送信装置によって送信された画像データを取り込む画像取込手段と、日時と共に文字記入領域及び画像表示領域の設けられた予定表を作成する予定表作成手段と、画像データから日時情報を抽出する日時情報抽出手段と、日時情報と予定表の日時とが対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように画像データを合成して所定の記憶手段に格納する制御手段とでなる情報処理装置とを設けるようにする。

【0012】外部の画像送信装置から送信された画像データを取り込み、当該画像データの日時情報に基づいて予定表の日時に対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるように合成することにより、予定表の画像表示領域に外部から取り込んだ画像を自動的に貼り付けて記憶することができる。

【0013】

【発明の実施の形態】以下図面について、本発明の一実施の形態を詳述する。

【0014】(1) 携帯情報端末通信システムの全体構成

図1において、1は全体として携帯情報端末通信システムを示し、携帯情報端末装置2が充電及びデータ授受用の台座（以下、これをクレイドルと呼ぶ）3にセットされ、当該クレイドル3からRS232C(Recommended Standard 232C)規格のシリアルケーブル4を介してLAN(Local Area Network)5に接続されている。

【0015】ここでクレイドル3は、携帯情報端末装置2と当接する部分に図示しない充電端子及びデータ端子が設けられており、携帯情報端末装置2のバッテリー（図示せず）を充電端子を介して充電し得ると共に、当該データ端子からシリアルケーブル4及びLAN5を経由して携帯情報端末専用サーバ6（以下、これを単に専用サーバと呼ぶ）とアクセスし得るようになされている。

【0016】専用サーバ6は、携帯情報端末装置2から要求されたホームページの転送及びメールアドレス6Aに蓄積されている電子メールの管理、携帯情報端末装置2からの要求に応じた画像データの加工処理等を実行するようになされている。

【0017】LAN5にはパーソナルコンピュータ7が接続されており、当該パーソナルコンピュータ7と携帯情報端末装置2との間で通話状態が設定されると、パーソナルコンピュータ7はLAN5からシリアルケーブル4及びクレイドル3のデータ端子を介してユーザ所望の制御命令を携帯情報端末装置2に送信することにより、当該携帯情報端末装置2を遠隔操作し得るようになされている。

【0018】またLAN5には、ゲートウェイサーバ8が接続されており、携帯情報端末装置2、専用サーバ6

及びパーソナルコンピュータ7はゲートウェイサーバ8を介してインターネット9に接続されている外部端末(図示せず)との間でデータ通信し得るようになされている。

【0019】携帯情報端末装置2は、正面ほぼ中央に液晶ディスプレイ(LCD(Liquid Crystal Display))でなる表示部11が設けられ、正面上部に設けられたCCD(Charge Coupled Device)カメラ12によって撮像された静止画像を表示し、又はLAN5を介して送られてきた電子メールやホームページを表示する。なお表示部11は、メモや電子メールを入力する際のデータ入力モード時にはタッチペン等の入力手段を介して手書き入力するためのタッチパネル(図示せず)となる。

【0020】CCDカメラ12の右隣部分には、マイクロフォン13が設けられており、ユーザの音声を集音する。CCDカメラ12の左隣部分には、スピーカ14が内蔵されており、上面左端部に設けられたアンテナ18を介して着信があったときの着信音や、ホームページの音声等を出力する。

【0021】因みに携帯情報端末装置2は、アンテナ18に接続された無線通信ユニット(図示せず)を内部に有し、通常の携帯電話機やPHS(Personal Handy-Phone System)のように無線通信することもできる。

【0022】また携帯情報端末装置2は、右側面上部にIrDA(Infrared Data Association)規格準拠の赤外線ポート15が設けられており、他の携帯情報端末装置2やパーソナルコンピュータ7に対して例えばCCDカメラ12によって撮像した静止画像データを赤外線ポート15を介して転送し得ると共に、他の携帯情報端末装置2やパーソナルコンピュータ7から転送される静止画像データを赤外線ポート15を介して受信し得るようになされている。

【0023】なお携帯情報端末装置2は、左側面上部にも赤外線ポート15(図示せず)が設けられており、使用条件に応じて左右の赤外線ポート15を使い分けようになされている。

【0024】赤外線ポート15の下方には、メモリスティック(商標)16用のメモリスティックスロット17が設けられており、メモリスティック16がメモリスティックスロット17に装着されると、携帯情報端末装置2はメモリスティック16を増設フラッシュメモリとして使用し得るようになされている。

【0025】ここでメモリスティック16は、本願出願人であるソニー株式会社によって開発されたフラッシュメモリカードの一種である。このメモリスティック16は、縦21.5×横50×厚さ2.8[mm]の小型・薄型形状のプラスチックケース内に電気的に書き換えや消去可能な不揮発性メモリであるEEPROM(Electrically Erasable and Programmable Read Only Memory)の一種であるフラッシュメモリ素子を格納したものであり、10ピン

端子を介して画像や音声、音楽等の各種データの書き込み及び読み出しが可能となっている。

【0026】またメモリスティック16は、使用する機器で互換性を確保することができる独自のシリアルプロトコルを採用していることにより、大容量化などによる内蔵フラッシュメモリの使用変更に対しても対応し得るようになされている。さらにメモリスティック16は、最大書き込み速度1.5[MB/S]、最大読出速度2.45[MB/S]の高速性能を実現すると共に、誤消去防止スイッチによって誤消去を防止して高い信頼性を確保している。

【0027】さらに携帯情報端末装置2は、表示部11の下部に複数の操作ボタン群19が設けられており、そのうち送信ボタン19Bが押下されるとCCDカメラ12によって撮像した静止画像データをクレイドル3のデータ端子及びシリアルケーブル4を介してパーソナルコンピュータ7に送信する。因みに携帯情報端末装置2は、クレイドル3にセットされていない場合、無線通信ユニット(図示せず)及びアンテナ18を介してパーソナルコンピュータ7へ無線通信によって静止画像データを送信する。

【0028】なお携帯情報端末装置2は、赤外線ポート15とパーソナルコンピュータ7の赤外線ポート(図示せず)を対向させた状態で送信ボタン19Bが押下されると、CCDカメラ12によって撮像した静止画像データをパーソナルコンピュータ7へ送信し得るようになされている。

【0029】(1-1)携帯情報端末装置の回路構成次に、携帯情報端末装置2の回路構成について図2を用いて説明する。携帯情報端末装置2は、大きく分けて制御ユニット21と無線通信ユニット22とから構成されている。

【0030】制御ユニット21は、CPU(Central Processing Unit)でなるシステムコントロール部23によって制御ユニット21全体及び無線通信ユニット22を制御しており、当該システムコントロール部23には、ROM(Read Only Memory)24、DRAM(Dynamic Random Access Memory)25、書き換え可能な不揮発性メモリでなるフラッシュメモリ26及びメモリスティック16を装着するためのメモリスティックスロット17が接続されている。

【0031】ここでDRAM25は、ROM24から読み出した所定のプログラムやアプリケーションソフトウェアをロードして所定の処理を実行するためのワークエリアとして用いられる。

【0032】ROM24は、無線通信ユニット22による無線通信を制御するための無線通信制御プログラム、CCDカメラ12によって撮像した静止画像データの送信制御を行う画像送信プログラム、HTML(Hyper Text Markup Language)ファイルを解析してホームページを表示するためのWWWブラウザ、表示部11を表示制御

するための表示制御プログラム、メニュー画面を表示するためのメニュープログラム等の種々のアプリケーションソフトウェアが記憶されており、必要に応じて読み出されてDRAM25にロードされる。

【0033】またシステムコントロール部23は、ROM24から読み出した表示制御プログラムや種々のアプリケーションソフトウェアに基づいてLCDドライバ27を駆動することにより、LCDでなる表示部11にLCDカメラ12によって撮像された静止画像、メニュー画面、ホームページ等を表示させると共に、スピーカ14を介して音声を出力する。

【0034】さらにシステムコントロール部23は、LCDカメラ12によって撮像された静止画像データ、マイクロフォン13によって集音した音声データ、表示部11のタッチパネル28上でタッチペンやタッチキーの操作によって作成された電子メール等の入力データを送受信データ処理部31によって所定のデータ処理を施した後、これを送信データとしてデータ送受信インターフェース32又はモデム29へ送出する。

【0035】ここで送受信データ処理部31は、携帯情報端末装置2がクレイドル3にセットされている場合には送信データをモデム29へ送出し、当該モデム29を介してクレイドル3のデータ端子3Aからシリアルケーブル4(図1)及びLAN5を介してパーソナルコンピュータ7へ送信する。

【0036】これに対して携帯情報端末装置2がクレイドル3にセットされていない場合、送受信データ処理部31は無線通信又は赤外線通信によってデータ送信するためにデータ送受信インターフェース32へ送出する。

【0037】データ送受信インターフェース32は、送信データを無線通信し得るデータ形式に変換し、これを無線通信ユニット22に送出する。無線通信ユニット22は、送信データに基づいて所定の変調処理(例えばQPSK(Quadrature Phase Shift Keying)変調処理)を施した後、所定の周波数帯域に周波数変換して送信信号を生成し、これを所定電力に増幅した後にアンテナ18を介して所定のアクセスポイント(図示せず)へ送信し、当該アクセスポイントを経由してLAN5(図1)からパーソナルコンピュータ7へ送信する。

【0038】またデータ送受信インターフェース32は、赤外線通信を行う場合には送信データを赤外線通信し得るデータ形式に変換し、これを赤外線ポート15を介して他の携帯情報端末装置2やパーソナルコンピュータ7に送信する。

【0039】実際に携帯情報端末装置2においては、LCDカメラ12によって静止画像データD51を撮像すると当該静止画像データD51をシステムコントロール部23に送出する。システムコントロール部23は、内部クロック(図示せず)に基づいてLCDカメラ12により撮像された日付及び時刻を日時情報として静止画像

データD51の画像ファイル名(例えば、1 16 06:00.pct)として付加し、当該画像ファイルをフラッシュメモリ26に順次格納する。

【0040】そして携帯情報端末装置2は、ユーザによって操作ボタン群19の送信ボタン19Bが押下されると、フラッシュメモリ26から静止画像データD51の画像ファイルを読み出し、送受信データ処理部31からデータ送受信インターフェース32又はクレイドル3を介してパーソナルコンピュータ7へ送信する。

【0041】(1-2)パーソナルコンピュータの回路構成

続いて、パーソナルコンピュータ7の回路構成について図3を用いて説明する。パーソナルコンピュータ7は、バス81にCPU82、ROM83、RAM84、ハードディスク85、キーボード及びマウス86、グラフィックス処理回路87及び通信インターフェース89が接続されて構成されている。

【0042】RAM84は、ROM83から読み出した所定のプログラムやアプリケーションソフトウェアをロードして所定の処理を実行するためのワークエリアとして用いられ、ROM83は本発明における媒体としての静止画像自動編集ソフトウェアやスケジューラソフトウェアが格納されており、必要に応じてRAM84にロードされる。

【0043】パーソナルコンピュータ7は、ROM83からスケジューラソフトウェアを読み出してRAM84上で立ち上げ、グラフィックス処理回路87を介して例えばCRT(Cathode Ray Tube Display)でなる表示部88に図4に示すような予定表画面90を表示する。

【0044】予定表画面90は、日付(1月16日、1月17日)と時刻が表示されており、この場合ユーザが調理した献立の「おかず」に関する「メッセージ」が時刻に対応したメッセージ領域91に既に記入されている。またメッセージ領域91の左隣又は右隣には時刻に対応した画像表示領域92が設けられている。

【0045】そしてパーソナルコンピュータ7は、ROM83から静止画像自動編集プログラムを読み出してRAM84上に立ち上げた状態で、携帯情報端末装置2からLAN5を介して送信される静止画像データD51を通信インターフェース89を介して取り込む。

【0046】パーソナルコンピュータ7のCPU82は、静止画像自動編集プログラムに基づいて静止画像データD51の画像ファイル名(1 16 06:00.pct)を抽出して日時情報(この場合1月16日06時00分)を読み出し、当該日時情報と共に静止画像データD51をグラフィックス処理回路87に送出する。

【0047】グラフィックス処理回路87は、CPU82の制御に基づいて静止画像データD51の日時情報に対応する予定表画面90の画像表示領域92に静止画像データD51を貼り付けるように合成し、その結果図5

に示すような予定表画面93を生成して表示部88に表示する。この予定表画面93では、画像表示領域92に静止画像データD51に応じた静止画像が貼り付けられている。

【0048】次に、パーソナルコンピュータ7による静止画像の自動編集処理手順を図6のフローチャートを用いて説明する。パーソナルコンピュータ7のCPU82は、RT1の開始ステップから入ってステップSP1に移る。

【0049】ステップSP1においてCPU82は、スケジュールソフトウェアに基づいて予定表画面90を表示部88に表示した状態で、静止画像自動編集プログラムに基づいて携帯情報端末装置2から転送される静止画像データD51を取り込み、次のステップSP2に移る。

【0050】ステップSP2においてCPU82は、予定表画面90上で編集（静止画像の貼り付け処理）されていない静止画像データD51の画像ファイルが存在するか否かを判定する。

【0051】ここで否定結果が得られると、このことは予定表画面90上で編集されていない画像ファイルは存在せず、取り込まれた静止画像が全て貼り付けられていることを表しており、このときCPU82は次のステップSP7に移って処理を終了する。

【0052】これに対してステップSP2において肯定結果が得られると、このことは予定表画面90上で編集されていない画像ファイルが存在することを表しており、このときCPU82は次のステップSP3に移る。

【0053】ステップSP3においてCPU82は、静止画像データD51の画像ファイル名から日時情報（16 06:00. pct）を読み出し、次のステップSP4に移る。

【0054】ステップSP4においてCPU82は、日時情報に対応する予定表画面90の画像表示領域92に他の画像ファイルが既に貼り付けられているか否かを判定する。ここで肯定結果が得られると、このことは日時情報に対応する予定表画面90の画像表示領域92に他の画像ファイルが貼り付けられていることを表しており、このときCPU82は次のステップSP5に移る。

【0055】ステップSP5においてCPU82は、時刻を進めて空いている画像表示領域92を探し、次のステップSP6に移る。

【0056】これに対してステップSP4において否定結果が得られると、このことは日時情報に対応する予定表画面90の画像表示領域92に他の画像ファイルが貼り付けられていないことを表しており、このときCPU82は次のステップSP6に移る。

【0057】ステップSP6においてCPU82は、日時情報に対応する予定表画面90の画像表示領域92に静止画像データD51の画像ファイルを貼り付けて合成

し、その結果得られる予定表画面93を表示部11に表示すると共にハードディスク85に格納し、再度ステップSP2に戻って上述の処理を繰り返し、静止画像の自動編集処理手順を終了する。

【0058】（2）実施の携帯における動作及び効果以上の構成において、パーソナルコンピュータ7はスケジュールソフトウェアに基づいて予定表画面90（図4）を表示部88に表示した状態で、静止画像自動編集プログラムに基づいて携帯情報端末装置2から転送される静止画像データD51を取り込む。

【0059】そしてパーソナルコンピュータ7は、静止画像データD51の画像ファイル名から日時情報を読み出し、予定表画面90の日時に対応した画像表示領域92に静止画像データD51の画像ファイルを貼り付けるように合成して予定表画面93（図5）を生成し、これを表示部88に表示すると共にハードディスク85に格納する。

【0060】以上の構成によれば、パーソナルコンピュータ7は静止画像自動編集プログラムに基づいて携帯情報端末装置2から転送される静止画像データD51の画像ファイルから日時情報を読み出し、予定表画面90の日時に対応した画像表示領域92に静止画像データD51の画像ファイルを貼り付けるように合成して予定表画面93を生成し、これを表示部88に表示すると共にハードディスク85に格納するようにしたことにより、ユーザの煩雑な操作なしに転送された静止画像データD51の画像ファイルを自動的に整理及び編集することができる。

【0061】またパーソナルコンピュータ7は、ユーザが予定表示画面93をWWW(WorldWide Web)サーバを介して自分のホームページとして公開している場合には、画像ファイルを自動的に整理及び編集することができるので、予定表画面93の作成を簡素化することができ、予定表画面93の内容を毎日更新する際の作成時間を短縮化して一段と使い勝手を向上させることができる。

【0062】また携帯情報端末装置2は、CCDカメラ12によって撮像した静止画像データD51をパーソナルコンピュータ7に転送し、当該パーソナルコンピュータ7によって静止画像の編集及び管理が行われるので、静止画像データD51を記憶しておく必要はなく、その分フラッシュメモリ26の記憶容量を低減させることができる。

【0063】（3）他の実施の形態
なお上述の実施の形態においては、情報処理装置としてのパーソナルコンピュータ7が、予定表作成手段としてのCPU82により日時と共に文字記入領域としてのメッセージ領域91及び画像表示領域としての画像表示領域92の設けられた予定表を作成し、画像取込手段としての通信インターフェース89により撮像時の日時情報

が付加された画像データとしての静止画像データD51を外部から取り込み、日時情報抽出手段としてのCPU82によって静止画像データD51から日時情報を抽出し、制御手段としてのCPU82によって日時情報と予定表としての予定画面90の日時とが対応する画像表示領域92に静止画像データD51に応じた静止画像を重ねるように静止画像データD51を合成して所定の記憶手段としてのハードディスク85に格納するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、他の種々の回路構成でなる予定表作成手段、画像取込手段、日時情報抽出手段及び制御手段によって情報処理装置を構成するようにしても良い。

【0064】また上述の実施の形態においては、パーソナルコンピュータ7が携帯情報端末装置2に設けられたCCDカメラ12によって撮像された所定画像サイズの静止画像を取り込んで予定画面90の画像表示領域92に自動的に貼り付けて記憶手段に格納するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、デジタルビデオカメラ等の他の種々の撮像手段によって撮像された種々の画像サイズの静止画像をCPU82によって画像表示領域92の画像サイズに変換して画像表示領域92に貼り付けるようにしても良い。

【0065】また上述の実施の形態においては、スケジューラソフトウェアに基づいて表示手段としての表示部88に表示された予定画面90の画像表示領域92に静止画像を貼り付けるようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、予定画面90の画像表示領域92の配置に係わらず、静止画像自動編集プログラムに基づいて日時に対応させた所望のレイアウトで静止画像を貼り付けるようにしても良い。

【0066】さらに上述の実施の形態においては、パーソナルコンピュータ7が画像送信装置としての携帯情報端末装置2に設けられたCCDカメラ12によって撮像された静止画像を取り込んで画像表示領域92に自動的に貼り付けるようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、デジタルビデオカメラ等の他の種々の撮像手段によって撮像された動画像をCPU82によって画像表示領域92に貼り付けるようにしても良い。この場合、画像表示領域92には動画像が表示される。

【0067】さらに上述の実施の形態においては、媒体としての静止画像自動編集プログラムがパーソナルコンピュータ7のROM83から読み出されて提供されるようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、CD-ROM(Compact Disc-Read Only Memory)、DVD(Digital Video Disc)、メモリスティック16等のパッケージメディアや、一時的又は永続的に格納される半導体メモリや磁気ディスク、並びにローカルエリアネットワーク、インターネット、デジタル衛星放送等の有線及び無線通信媒体、さらにルータやモデム等の各種通信インターフェースによって提供されるようにして

も良い。

【0068】さらに上述の実施の形態においては、ROM83から読み出した静止画像自動編集プログラムに基づいてパーソナルコンピュータ7が静止画像の自動編集処理を実行するようにした場合について述べたが、本発明はこれに限らず、メモリスティック16にスケジューラソフトウェア及び静止画像自動編集プログラムが格納され、携帯情報端末装置2で静止画像の自動編集処理を実行するようにしても良い。

10 【0069】

【発明の効果】上述のように本発明によれば、外部から取り込んだ画像データの日時情報に基づいて予定表の日時に対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるようにして合成することにより、予定表の画像表示領域に外部から取り込んだ画像を自動的に貼り付けて記憶することができ、かくして外部から取り込んだ画像を煩雑な操作なしに効果的に編集し得る情報処理装置を実現できる。

20 【0070】また本発明によれば、外部から取り込んだ画像データの日時情報に基づいて予定表の日時に対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるようにして合成することにより、予定表の画像表示領域に外部から取り込んだ画像を自動的に貼り付けて記憶することができ、かくして外部から取り込んだ画像を煩雑な操作なしに効果的に編集し得る情報処理方法を実現できる。

30 【0071】さらに本発明によれば、外部から取り込んだ画像データの日時情報に基づいて予定表の日時に対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるようにして合成するプログラムを情報処理装置に実行させることにより、予定表の画像表示領域に外部から取り込んだ画像を自動的に貼り付けて記憶することができる媒体を実現できる。

【0072】さらに本発明によれば、外部の画像送信装置から送信された画像データを取り込み、当該画像データの日時情報に基づいて予定表の日時に対応する画像表示領域に画像データに応じた画像を重ねるようにして合成することにより、予定表の画像表示領域に外部から取り込んだ画像を自動的に貼り付けて記憶することができ、かくして外部の画像送信装置から取り込んだ画像を煩雑な操作なしに効果的に編集し得る画像編集処理システムを実現できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による携帯情報端末通信システムの全体構成を示す略線概略図である。

【図2】携帯情報端末装置の回路構成を示すブロック図である。

【図3】パーソナルコンピュータの回路構成を示すブロック図である。

50 【図4】スケジューラの予定画面を示す略線図であ

(8) 000-285168 (P2000-285168A)

13

14

る。

【図5】静止画像の貼り付けられたスケジューラの予定画面を示す略線図である。

【図6】静止画像の自動偏執処理手順を示すフローチャートである。

【符号の説明】

1……携帯情報端末通信システム、2……携帯情報端末装置、3……クレイドル、5……LAN、6……専用サ

ーバ、7……パーソナルコンピュータ、11……表示部、12……CCDカメラ、13……システムコントロール部、24、83……ROM、25……DRAM、26……フラッシュメモリ、27……LCDドライバ、31……送受信データ処理部、81……バス、82……CPU、84……RAM、85……ハードディスク、87……グラフィックス処理回路、88……表示部。

【図1】

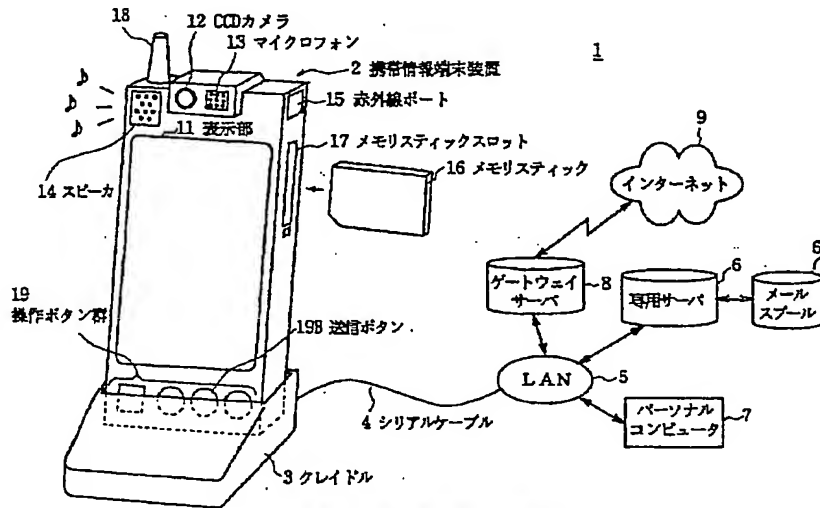


図1 携帯情報端末通信システム

【図2】

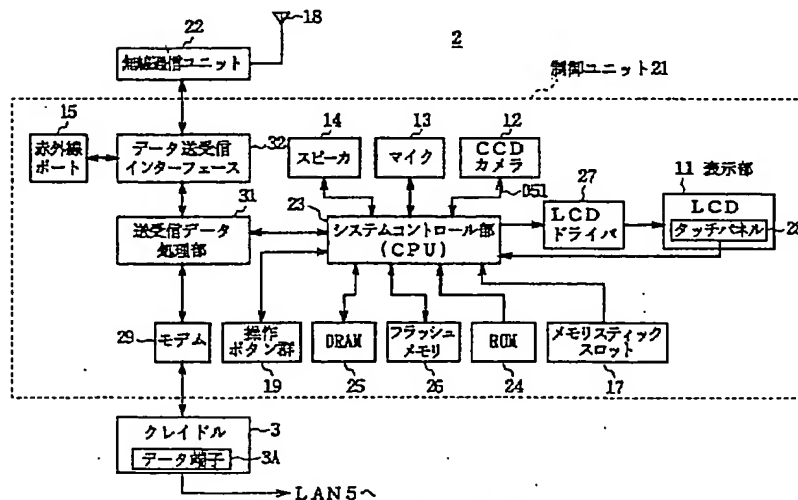


図2 携帯情報端末通信装置の回路構成

【図3】

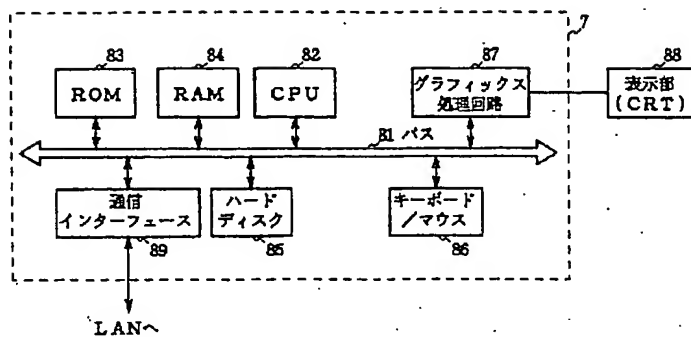


図3 パーソナルコンピュータの回路構成

【図4】

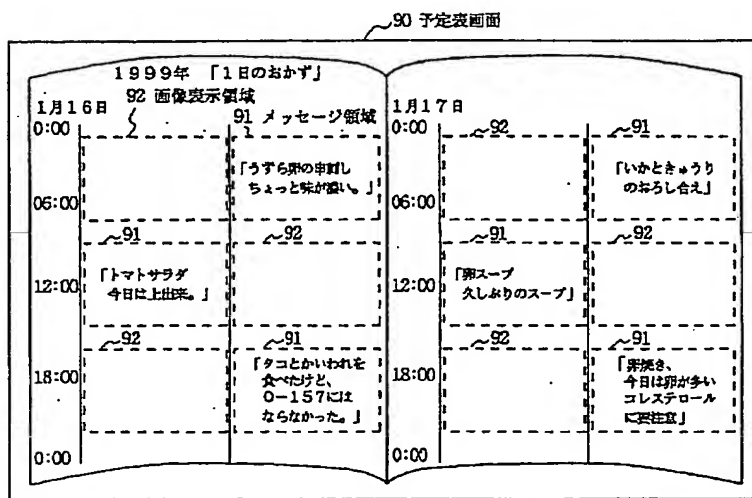


図4 スケジューラの予定表画面

(10) 000-285168 (P2000-285168A)

【図5】

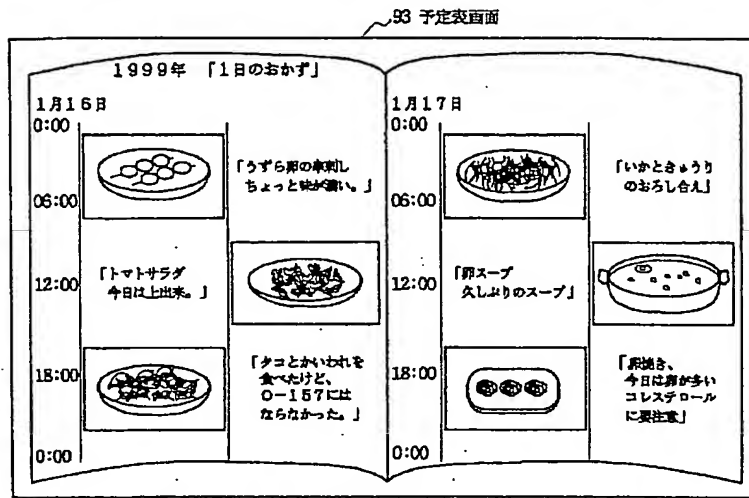


図5 静止画像の貼り付けられたスケジュールの予定表画面

【図6】

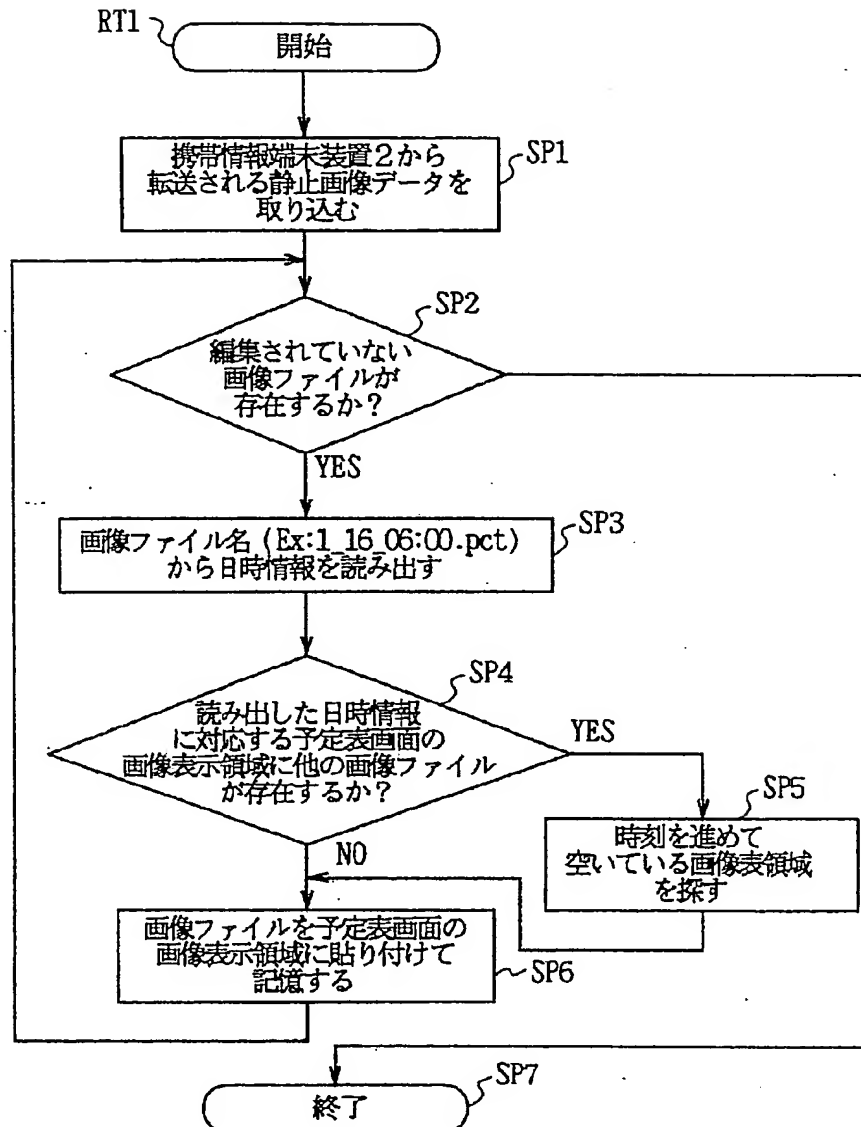


図6 静止画像の自動編集処理手順

フロントページの続き

(72)発明者 鈴木 直大
東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー
株式会社内

(12) 000-285168 (P2000-285168A)

Fターム(参考) 5B009 NA11 NB01 NC06 NG02 RB02
RB33 TA02 VA05 VA07 VA08
VC02
5B019 BA03 DB10 EA02 EA06 EB07
FA10 HA04 HA06 HD02 HE12
HG24 JA01 KA04 KA05
5B049 CC31 CC32 DD03 DD05 EE03
EE07 FF03 FF04 FF06 FF07
FF09 GG03 GG04 GG06
5B050 BA10 BA16 EA12 EA20 FA02